

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
22001	X-31-B-1-220019	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
経営学入門	土屋 翔			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

本講義では、経営学の中でも基礎理論を包括的に学ぶ。また、事例を例示することにより理論習得を深める。さらに、一つの事例に対して多様な視点から考察することにより、視点を複数持つ重要性を身につけることができる。以上を学ぶことによって「健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決に当たることができる」人物像を目指す。

各回毎の授業内容

第1回 【授】ガイダンス（講義の要旨、評価基準、講義進行の方法等） 【前・後】当日の講義内容を復習する。予習復習に4時間。	第9回 【授】組織の社会的責任① 【前・後】講義内容から組織における責任を考察する。予習復習4時間。
第2回 【授】経営学とは何か 【前・後】経営学の全体的な枠組みを復習する。予習復習に4時間。	第10回 【授】組織の社会的責任② 【前・後】今後、どのような責任が求められるか考察する。予習復習4時間。
第3回 【授】身近にある経営 【前・後】経営学視点で身近な事象をみてる。予習復習に4時間。	第11回 【授】今日の組織化の動き 【前・後】時事から見る組織行動の考察する。予習復習4時間。
第4回 【授】組織と管理とは何か 【前・後】主要概念である組織と管理との重要性を確認する。予習復習に4時間。	第12回 【授】経営学の汎用性 【前・後】再度、経営学視点で事象をみてる。予習復習4時間。
第5回 【授】組織形態の概念 【前・後】組織形態から有名企業をみてる。予習復習に4時間。	第13回 【授】経営学の限界性 【前・後】経営学の特性上、限界があることも理解する。予習復習4時間。
第6回 【授】サービスのサービスと影響力 【前・後】現代社会における組織の重要性を身近な事例から考察する。予習復習4時間。	第14回 【授】確認テストと人間の限界性 【前・後】人間には限界があることを理解し、協働の必要性を再確認する。予習復習4時間。
第7回 【授】ブラック企業の間 【前・後】ブラック企業問題を経営学視点から考察する。予習復習4時間。	第15回 【授】総まとめとフィードバック 【前・後】経営学視点とは何かを再度確認する。予習復習4時間。
第8回 【授】組織の多様な目的 【前・後】営利以外の多様な組織体を考察する。予習復習4時間。	第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート 宿題・授業外レポート							30
授業態度・授業への参加 成果発表（口頭・実技） 演習 その他							

応用試験（小論文 A 4 両面 2、3 枚、持ち込み不可）：70%、授業態度・授業への貢献度：30%、で評価する。

第15回の授業で、応用試験の優秀答案や答案の解説、改善等のフィードバックをする。

教科書参考書

基本的に指定はしない。その代わりに、講義中多様な資料から解説を行う。講義内容を良く聞き、良くメモを取ることを求める。

受講に当たっての留意事項

1. 状況によって講義内容の順番が前後する。または、他の内容に置き換える可能性がある。
2. 試験は論文形式のため、文章を書けるように努力する。
3. 資料は、配布しない。当日、提示するものを書き取る。
4. 講義開始前に、前講義のフィードバック、時事問題を多数扱う。

学習到達目標

- ①組織とは何か、組織は私たちにどのような影響を与えているのか、を理解（確認テスト：40%）
- ②管理とは何か、管理する経営資源とは何か、具体的にどのように管理すればいいのか、を理解（確認テスト：30%）
- ③多様な視点で物事を考察し、方法論を立案する力を習得（授業貢献度：20%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習